

サステナビリティ教育研究センター 活動報告

1. タイトル

2023年度けやき循環プロジェクト 小学校焼き芋大会

2. スケジュール

| 日付 | 参加者 | 場所 |
|----------------|--|----|
| 2023年12月7日(木) | 1年生・教職員・保護者(複数名) | 松林 |
| 2023年12月8日(金) | 3年生・教職員・保護者(複数名) | |
| 2023年12月18日(月) | 2年生・教職員 | |
| 2023年12月20日(水) | 6年生・教職員 | |
| 2023年12月21日(木) | 4年生・教職員・【学園及び大学教職員・成蹊大学生】 | |
| 2023年12月22日(金) | 5年生・教職員・成蹊高校生(小中高一貫教育連携企画)・ 【学園及び大学教職員・成蹊大学生】 | |

3. 活動内容

本活動では、けやき循環プロジェクトの活動の一つである「落ち葉集め」にて教職員・大学生と小学生と一緒に集めたものの他、小学校の各クラスや管財課分室が業務の中で集めた落ち葉を活用し焼き芋をつくる。芋を焼く際には、まず、クラスごとに落ち葉を燃やして灰にした「焼き床」を作ることから始める。焼き床は担当する教職員によって馬蹄形・円・直線形と形が異なり、加えて当日の風向きも考え焼き床の向きを変えるなど各教職員の長年の経験や知恵をもとに作られる。次に、完成した焼き床に児童が芋を投入し、再度落ち葉を積み上げて燃やしていく。芋を投入してから2時間ほどで焼き芋が完成する。出来上がってすぐのホクホクの焼き芋を食べている時の児童の表情はとても微笑ましい。

4. 成果と課題

焼き芋大会の魅力は、児童と学生や教職員が交流しながら集めた学内の櫛の落ち葉を燃やして芋を焼いている点、芋を焼き終わった後に残った灰を肥料として畑に撒き作物を育てることで「けやき循環」を行っている点、また、近年都市部では行われることのない「たき火」というものを児童たちが実際に体験できるという点である。また、児童にとってはワンキャンパスという成蹊学園の利点を生かして様々な世代と関わりを持つ大変貴重な機会にもなっている。

課題としては近隣への煙対策が挙げられる。昨年までの近隣住民の方からの苦情を踏まえて、「周知方法の改善(近隣住民への周知文の投函・ホームページでの周知)」および「事前に武蔵野市役所へ出向いて説明」を行った。その際、広範囲にわたり煙が広がっていることで様々な苦情が武蔵野市に入っているとのことであったため、煙が滞留しない晴天日のみ行うこと、焼き時間の短縮や焼く落ち葉の量を少なくするために投入する芋の大きさや本数を変えるなどの対策を行った。それらが功を奏し、今年度に関しては特段の苦情連絡等は無かった。引き続き対策を行いながら実施していきたい。一方で、近隣への煙対策を強化したことによる大会の延期もあり、「落ち葉集め」に参加いただいた教職員・学生との日程調整が難しく、実際に一緒に焼き芋づくりをすることができた人数が大幅に少なくなってしまったことは、協同での活動

という点では満足のいくものではなかった。

最後に、今年度も管財課分室で長期間にわたり集めていただいた大量の落ち葉のお陰で、滞りなく開催することができた。この場を借りて感謝申し上げたい。



